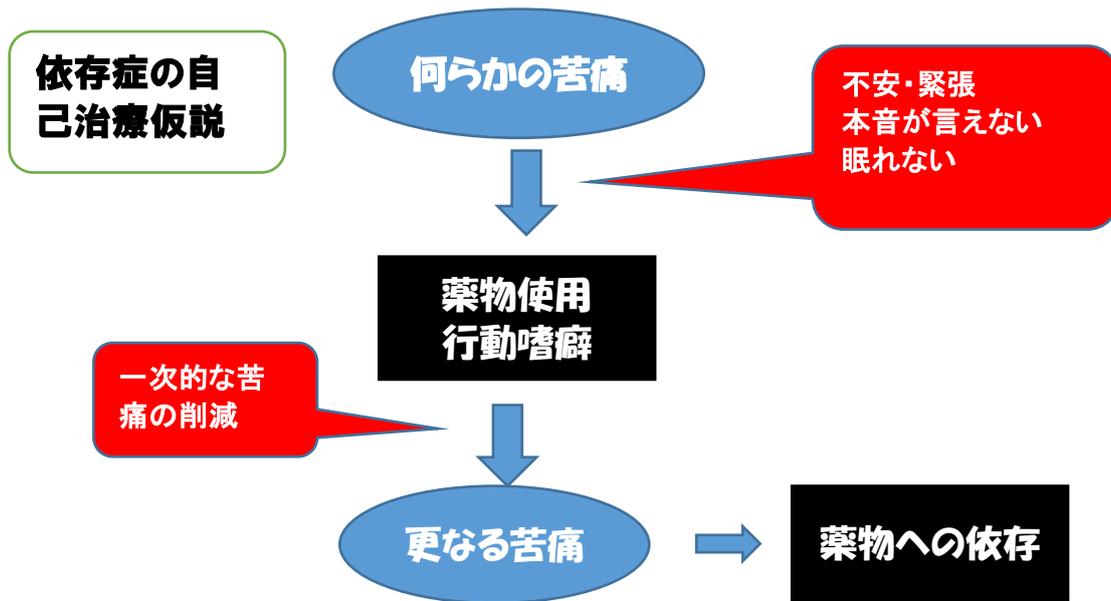
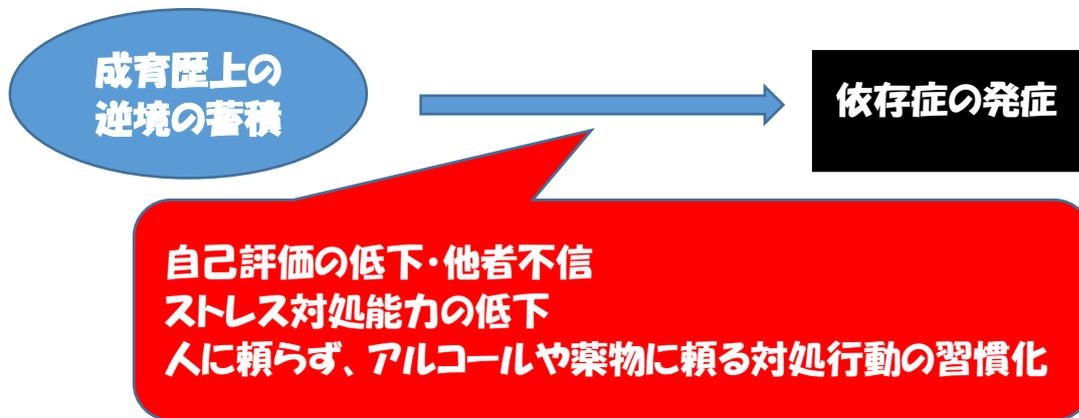


# 依存症の形成・発症のメカニズム



”自己治療”としての依存症  
依存症の中心には苦痛がある、苦しい時には、アルコールが増える  
”現実逃避”の酒

## ”信頼障害”としての依存症説



依存症者の特徴  
①自己評価が低く自分に自信が持てない。②人を信じられない  
③本音を言えない。④見捨てられる不安が大きい  
⑤孤独で寂しい。⑥自分を大切にできない

幼少期からの生育環境、特に親との関係において、安心感・安全感をもてなかったことが多い。生きづらさが過剰適応と心理的孤立のきっかけとなり、それが孤立と無力感を生じさせ、人に頼れずアディクションに結びつく